



平成 23 年 9 月 13 日

各 位

会社名 株式会社ファーマフーズ
代表者 代表取締役社長 金 武祐
(コード番号: 2929 東証マザーズ)
問合せ先 総務部部长 新谷 義信
(電話番号: 075-394-8600)

中期経営計画に関するお知らせ

株式会社ファーマフーズでは、この度、平成 23 年 8 月から平成 26 年 7 月末までの中期経営計画を策定しました。

当社は、平成 20 年 9 月発表の中期経営計画に基づき、以下の 3 つのテーマを柱として事業展開を推進してまいりました。

- 1 . 海外営業展開と国内営業の進展
- 2 . 機能性素材部門の開発事業と次世代製品の開発事業
- 3 . 利益率の改善と効率的な企業運営による黒字化への取り組み

その結果、北米では、平成 21 年 2 月以降、当社素材ファーマギャバ™が飲料やサプリメントに採用されております。また、中国では平成 20 年 9 月に当社素材ボーンペップ™及び平成 21 年 10 月にファーマギャバ™が中国衛生部から「新資源食品」の認可を受け、中国国内での販売実績を上げております。国内営業におきましては、ギャバの売上減少等の要因はありましたが、ボーンペップ™等の新たな機能性素材製品の発売、葉酸たまご事業及び受託試験事業の展開等により、売上及び利益の確保に努めてまいりました。

このような営業活動のもと、上場以来 3 期連続して赤字決算となっておりましたが、平成 22 年 7 月期におきましては、黒字転換を果たしました。また、平成 23 年 7 月期には、特別損失として投資有価証券評価損を計上し、最終的に純損失になったものの、経常利益では前年を上回る利益を確保することができ、業績は回復から確固たる上昇傾向へと推移しております。

平成 23 年 8 月をスタートとする中期経営計画では、海外での営業展開を大きな柱として、市場拡大による売上高の増加を目指してまいります。また、新規機能性素材の開発を進め、新たな市場の開拓を進めてまいります。

1. 海外での営業展開について

(1) 中国市場

中国では、新資源食品の許認可を取得しております当社素材ボーンペップ™が中国最大手乳業メーカーの蒙牛乳業で採用され、「高カルシウム牛乳」が本年6月より中国全土で発売開始されております。同じく新資源食品の許認可を取得しておりますファーマギャバ™と併せて、大手乳業メーカー・食品メーカーでの新規採用に向け、営業活動を活発化してまいります。

昨年末から中国瀋陽にて葉酸たまごが発売され、当社の家禽用混合飼料であるファーマバイオミックス™が売上実績を上げております。今春には葉酸たまごビジネスでパートナーシップを締結している瀋陽華美畜禽有限公司が葉酸たまごの生産基地を開設しました。中国瀋陽市内では、葉酸たまごの売上拡大が見込まれており、当面100万羽の給餌体制の構築を目指し、更には中国全土への販売拡大を目指して活動してまいります。

新資源食品の認可申請について、新たに「ランペップ™」、「ライフペップ™」、「鶏卵抗体(IgY)」の3品目を行います。当該3品目について許認可を取得することで、アイテム数を増やし、より効率的な営業活動を行い、売上高の増加を目指します。

(2) 北米市場

米国食品医薬品局(FDA)に、ファーマギャバ™のGRAS物質としての届出(Notification GRAS)を完了することで、グローバルな大手食品メーカーを中心に、乳製品や菓子等様々な食品としての採用の可能性を広げ、食品市場への営業活動を展開します。

(3) アジア市場

韓国におきましては、既に、大きな販売実績を上げているボーンペップ™、ファーマバイオミックス™、鶏卵抗体(IgY)について引続き販売体制を維持するとともに、ファーマギャバ™について、韓国食品医薬品安全庁(KFDA)の許認可を取得し、販売する予定であります。

台湾やタイを中心とした東南アジア圏でも、営業展開を図ってまいります。その一環として、台湾にて、ファーマバイオミックス™の飼料としての販売許可を取得します。また、タイにて、ファーマギャバ™について、タイ保健省食品医薬品局(FDA)の許認可を取得する予定です。

これらの許認可を取得することで各国において他社と差別化した素材のビジネスモデルを構築することができます。これらの案件については、すでに事業展開を進めており、早期の売上実現が可能であると見込んでおります。

(4) 中東市場

当社の営業拠点であります、Pharma Foods Egyptを中心とし、スーダン、チュニジア等の周辺8ヶ国への営業展開を図ります。

2. 国内での営業展開について

ファーマギャバ™については、最盛期の売上と比較すると減少しているのが現状です。そこで、ファーマギャバ™について、ストレス以外に睡眠改善等のコンセプトの拡大を進め、新たな市場の開拓を図ります。また、ボーンペップ™等の次なる主力製品についての営業活動を進めてまいります。

研究開発が完了しているランペップ、抗歯周病鶏卵抗体、抗インフルエンザウィルス鶏卵抗体について、当社の主力製品とするべく、サプリメントメーカー・食品メーカーへの営業活動を進めてまいります。

3. 新規機能性素材の開発と次世代製品の事業展開について

(1) 新規機能性素材の開発

次なる基幹製品として、抗炎症・抗酸化効果をもつチオレドキシン(TRX)、睡眠改善素材としてのクワンソウ、鶏卵由来の新規化粧品素材の開発を進め、本格的な事業化を目指します。また、既存製品についての用途開発・生産技術開発を検討し、様々な場面で当社製品が採用されるよう各製品のラインナップ拡充を図ります。

(2) 次世代製品の開発事業

当社の機能性食品素材であるボーンペップ™については、破骨の抑制作用と骨芽の促進作用があることが実証されております。このボーンペップ™の機能性を再生医療へと追求することで、新しい医薬品分野への高度利用を展開いたします。

当社の関連会社である株式会社広島バイオメディカルにおいて進めている鶏卵抗体の高度利用研究について、モノクローナル抗体及びヒト化抗体の作製技術を確立しております。この技術を用いての抗体受託作製事業については、受託数が増加する傾向にあり、その技術の高さが周知されつつあります。次なるビジネススキームとしまして、抗体医薬開発事業の展開を進めており、早期の事業化を目指します。

4. 売上総利益率の確保及び効率的な企業運営について

(1) 売上総利益率の確保

ファーマギバ™、ボーンペップ™等の機能性素材について、海外展開等により市場を広げ、売上構成割合を採算性の良い方向へ移行することにより現在水準の売上総利益率の確保を図ります。

新規機能性素材製品を製造するにあたり、徹底したコスト管理を行うことにより売上総利益率を確保いたします。また、既存製品についても、引続き収率の改善等の検討を行ってまいります。

(2) 効率的な企業運営

数年にわたるダウンサイジングの結果、経費については概ね無駄を省くことができっておりますが、更に管理費等の見直しを進め、低コストでの企業体制の維持を目指します。

研究開発費については、積極的に国や地方公共団体の補助事業を活用することにより、効率的に新規素材の開発を行うことを目指します。

海外での許認可取得にかかる費用等については、業務提携企業との共同で負担する等、最低限の支出で行えるよう取り組みます。

一方、売上増加等の要因からの企業規模及び事業規模の拡大により、適宜、従業員の増員、営業拠点の設置等も行っております。

5. 業績数値目標

(単位:百万円)

	第14期 平成23年7月期 (実績)	第15期 平成24年7月期 (計画)	第16期 平成25年7月期 (計画)	第17期 平成26年7月期 (計画)
売上高	1,006	1,200	1,450	1,750
営業利益	44	30	90	140
経常利益	32	50	120	170
当期純利益	46	45	110	160

当資料取扱上の注意点

当資料には、株式会社ファーマフーズの業績、戦略、事業計画等に関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述及び資料は、本資料発表日現在において入手可能な情報と、目標や予測に基づいて作成したものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来的予測と異なる結果になることがある点を認識したうえで、ご利用ください。